【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年6月27日(2024.6.27)

【公開番号】特開2023-66534(P2023-66534A)
【公開日】令和5年5月16日(2023.5.16)
【年通号数】公開公報(特許)2023-089
【出願番号】特願2021-177184(P2021-177184)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ 13/08(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ 13/08 E

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月19日(2024.6.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
摩擦ローラ減速機は、入力軸と一体に備えられた太陽ローラ（サンローラ）と、太陽ローラの周囲に該太陽ローラに対する相対回転を可能に支持された環状ローラ（リングローラ）と、外周面（転動面）を、太陽ローラの外周面（内径側転がり接触面）と環状ローラの内周面（外径側転がり接触面）とに転がり接触させた複数個の中間ローラとを備える。摩擦ローラ減速機には、環状ローラを、入力軸を中心とする回転を可能に支持し、かつ、複数個の中間ローラを、入力軸を中心とする回転（公転）を不能に支持し、環状ローラの回転を出力軸から取り出すリング出力式のものと、環状ローラを、入力軸を中心とする回転を不能に支持し、かつ、複数個の中間ローラ（遊星ローラ）を、入力軸を中心とする回転（公転）を可能に支持し、中間ローラの公転を出力軸から取り出すキャリア出力式（遊星ローラ式）のものとがある。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９１】
ただし、この場合でも、遊星ローラユニット８の重心G_8は、太陽ローラ５の中心軸O_5と、揺動軸部３８の中心軸O_{38}とを結んだ直線β上に位置している。このような本例の場合にも、摩擦ローラ減速機１の運転時に、遊星ローラ３０および支持軸受３２に加わるモーメントM_1と、揺動ホルダ３１ｂに加わるモーメントM_2とを、遊星ローラユニット８内でほぼ完全に相殺することができる。その他の部分の構成および作用効果は、実施の形態の第１例および第２例と同様である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１１】

